

沖縄工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	地理学概論
科目基礎情報						
科目番号	3016		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	メディア情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	担当教員が作成・編集した資料および演習課題、BlackboardおよびOffice365(またはその互換アプリ)にアクセスしそれらが利用できるパーソナルコンピュータ					
担当教員	木村 和雄					
到達目標						
①現代社会を構築してきた人々の活動とその背景を系統地理学的に把握する。②社会を表現する様々な空間情報、地図・統計・RS・GIS等を読み取り、世界や任意の地域の特徴を認識できる。【Ⅲ－C】【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】【Ⅷ－E】						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		最低限必要な到達レベル (可)	
現代社会を構築してきた人々の活動とその背景を系統地理学的に把握する。		将来、受講生が活躍する「場」の地域像をイメージでき、その形成・持続と改善へ主体的に関わる意識を持つ。	自然環境・人口・産業立地の地域性を生んだ背景・過程を理解できる。		自然環境・人口・産業立地の地域性を理解できる。	
社会を表現する様々な空間情報を統計や地図を通じて理解する。		気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等の情報を解釈し、地域差を生む要因を説明できる。	気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等から、地域の特徴をイメージできる。		気象統計・地形図・ハザードマップ・人口統計・各種分布図等を読むことができる。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	講義は系統地理学各分野のうち、1)地圏環境と空間利用、2)人口の分布・構造と変化、3) 産業立地の3テーマに焦点を当てる。この構成は、近代以降現在に至るまでの日本あるいは日系企業の「3)産業立地」による地域への影響を理解すること最終目標とし、その要因としての、日本あるいは世界各地の「2)人口」や「1)地圏環境」など地理的特徴を把握してもらうことを意図している。					
授業の進め方・方法	今年度は、新型コロナウイルス禍への対応策として、講義資料のオンライン提供によって知識や情報検索・読解能力を養い、その定着を演習によって確かめ、オンライン提出された演習の成果品によって成績を評価するものとする。教材の提供、内容に関する質疑、および成果品の提出は、Blackboardを用いる。詳細はBlackboard内の指示・説明を参照されたい。なお、Blackboardにアクセスできない受講生は別途対応するので、できるだけ早くその旨を連絡されたい。また状況によっては通信手段をBlackboard以外に変える可能性もあることを留意されたい。今後の変更および後期については、状況の推移に応じて別途メール等で指示する。					
注意点	担当者・受講生とも初の遠隔授業になる。その条件を積極的に活用してもらうとともに、別途・提示される注意事項・ルールを遵守してほしい。特に配信した資料の2次利用は厳禁とする。もし2次利用が発覚した場合は、担当者は授業全記録を抹消する（つまり全員、未履修状態に戻る）。またID詐称等があった場合、当該受講生は未履修とする。また演習に際して、指示されたもの以外の外部資料も大いに用いて構わないが、成果品の作成と提出に当たっては、この授業における課題設定意図に沿うように留意してほしい。例えば、気候データなどでは、ネット上にある情報のなかには気候統計としての定義から逸脱していたり、信用性に欠けるものが多々ある。そうした情報を避け、有用で信頼できる情報を獲得するためのスキルやノウハウも磨いていってほしい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	地理学への招待		地理学の全体像と授業の方向性がわかる	
		2週	統計気候から見た世界		気候要素と地球の成帯的な気候がわかる	
		3週	統計気候の演習		気象統計を用いて気候帯を区分できる【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
		4週	気団気候		大気循環とそれに伴って形成される気団の分布に基づく気候区分を理解する	
		5週	総観気候		天気図や気象衛星画像を気候学的視点から読める	
		6週	気象・気候災害		代表的な気象災害の発生傾向やその対策の歴史を知る【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
		7週	応用気候		大気汚染や原子力災害と気候との関係を知る【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
		8週	植生と土壌		気候と密接に関連する植物や土の分布と、人類の食糧生産との関係を知る【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
	2ndQ	9週	水文環境		様々なスケールや場における水の分布と動きを知り、その資源としての存在度と地域差を理解する【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
		10週	地形の形成要因		地形を造る力＝営力について知る	
		11週	地殻変動と火山活動による地形		地形の骨格となる変動地形・火山地形がわかる	
		12週	浸蝕作用と地形		浸蝕作用や重力の影響が大きい斜面(山地・丘陵地・段丘崖)の地形がわかる	
		13週	堆積作用と地形		主に堆積作用で生じた平坦地(低地・段丘面)の地形を知り、その人為的土地利用や土地改変について理解する	
		14週	地圏環境情報の活用1		Web-GISの存在と活用法を知る【Ⅷ－C】【Ⅷ－D】	
		15週	地圏環境情報の活用2		Web-GIS上のハザードマップを用いて、任意の地点における被災時の行動計画を策定できる【Ⅷ－C】【Ⅷ－E】	
		16週	前期末課題の提出			
後期	3rdQ	1週	リスタートガイダンス		前期の状況確認、後期も引き続き変則授業になることとその方針等について説明する。	
		2週	世界の人口 1		世界の人口分布と近世以降の人口推移を知る	

		3週	世界の人口 2	世界各地の人口の基本構造を知る【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】
		4週	世界の人口 3	世界各地の社会構造や人口政策を知る【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】
		5週	世界の人口 4	国際的な人口移動とその功罪を知る
		6週	日本の人口 1	日本の人口分布と推移を知る【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】
		7週	日本の人口 2	日本各地の人口構造を知る【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】
		8週	日本の人口 3	日本国内の人口移動を知る【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】
	4thQ	9週	産業基盤の地域性1	中世以降の世界における第1次産業立地を知る
		10週	産業基盤の地域性2	近代以降の日本における第1次産業立地を知る
		11週	近代工業の成立と展開	近代以降における世界各地の工業立地を知る【Ⅷ-E】
		12週	日本の工業地域1	日本における近代工業の成立と地域展開を知る【Ⅷ-E】
		13週	日本の工業地域2	現代の工業立地がわかる【Ⅷ-C】【Ⅷ-D】【Ⅷ-E】
		14週	日系企業の拠点立地	工業立地の業種別動向がわかる【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】
		15週	工業立地の地域性とその変容	工業立地と地域社会との関係がわかる【Ⅷ-E】
		16週	学年末課題および未提出課題の提出	

評価割合

	小テスト・演習	レポート	出席状況	受講態度	合計
総合評価割合	65	15	5	15	100
基礎的能力	50	5	0	0	55
応用力	15	10	0	0	25
主体的・継続的学修意欲	0	0	5	15	20